



関西支部会 会報

KANSAI

三医会関西支部会事務局

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-20-21
医療法人 杉本眼科
杉本 浩一
TEL 06-6624-1985
FAX 06-6624-6291

支部長に再選されて

杉本 浩一（昭和42年卒業）

平成17年2月神戸に於いて開催された三医会関西総会において会員の皆様の推挙を賜り支部長に就任させて頂いて3年が経過しました。

この間三医会本部との連携の強化を目指して本部での会合には出来るだけ出席させて頂きました。近畿2府4県に亘って約500名の会員がおられるわけですので支部として会報の発刊を行い情報の共有化に努めました。

毎年2月に開催される総会に一人でも多くの先生方に出席して頂ける様に内容の充実に努めさらに6月に開催する三重大医学部M6の学生さん達との「関西地区に於ける研修医指定病院に関する情報交換会」（いわゆる「夏の会」）を同窓会としての後輩への羅針盤的な活動の一環として位置づけて開催して来ました。この様に会員の先生方の「支援・」協力のお陰で沸りなく任期をまつとうする」とが出来ました。厚く御礼を申し上げます。

平成20年2月の総会（神戸市）に於いて「」推举を賜り再選して頂き大変光栄に思っています。

具体的には三医会関西支部のホームページを立ち上げてより一層の情報の共有化を推進したいと考えています。その際会員の皆様のメールアドレスなどを「」教示賜つてメーリングリストを作成したいと思っています。また今年度中に三医会関西支部独自の会員名簿を新たに発刊する予定です。

向こう3年の任期を誠心誠意努力して役員の先生方と一緒にとなって会務を遂行してまいりたいと思つてますので何卒会員の皆様の「」協力を宜しくお願ひ申上げます。



「大阪での仕事」

四天王寺大学 人文社会学部 教授 橋本 篤孝

（昭和47年卒業）

津を思う
津に降り立つと迎えてくれる
西の空には神々しくも絆が峰
東の海には豊穣きらめく伊勢の潮騮
白球を追つた大谷町のグラウンド
夜ごとの飲み会
大門、立町、三重会館
おーい、そこはまだ健在なのかい
認知症高齢者は生家を求めて徘徊する
旅なのだろうか

私は、普通はしないような無謀な、多種の臨床経験を経て（米国JCI-LAの一年半の留学も含めて）、現在、大阪府羽曳野市にある四天王寺大学（経営母体は四天王寺です）で社会福祉士あるいは精神保健福祉士への身体医学及び精神医学の基礎的知識を講義しております。小生の今までの医師としての道程を全て書き

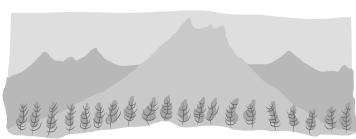
ますと冗談に過ぎませんので、下記に小生が持つている資格を恥ずかしながら書いて見ます。
それを見ていただくと、小生の個人史が大体分かるのではないかと愚考します。



①精神保健指定医 ②日本精神神経学会専門医 & 指導医 ③日本神経学会認定神経内科専門医 ④日本内科学会認定内科医 ⑤日本産業精神保健専門職 ⑥日本医師会認定産業医 ⑦麻酔標榜医（名古屋大学一愛知県）⑧近畿大学医学会会員 ⑨E-CFMG取得（米国医療者資格。現在は消滅）などです。

現在は、上記の四天王寺大学で非医師医療スタッフであるソーシャルワーカー、PT、OT、STなどの養成に関わっております。また、大和川以南の高齢者施設など、入所者の精神医学的諸問題の相談に出かけることが多々あります。自称、「認知症高齢者の御用聞き精神科医」として活動もしております。そのため、大阪府社会福祉協議会（谷町6丁目）で助言スタッフにもなっております。このような毎日ですが、いつも三重大学を卒業したことを誇りに思っています。初対面の医師にはよく聞きます。「先生は三重大学御卒業ではないですか？」と。

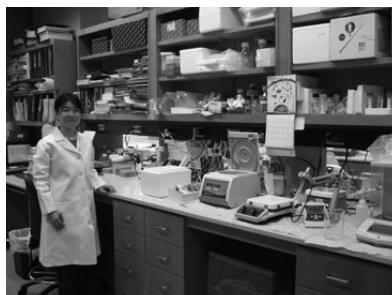
最後に「下手な詩を一つ添えて現状報告を終わります。



アメリカディープサウス(深南部)、アラバマ便り 「アラバマ滞在6年更新中」

勤務先 アラバマ大学バーミンハム校(アメリカ合衆国)

鶴田 優子 (平成3年卒業)



〈著者の実験スペース〉

写真左端にコンピューターを備えたデスクがあり、右側に見える卓上遠心機のあたりまでが、個人に割り当てられた実験スペースです。

アメリカディープサウス(深南部)と聞いてみなさんは何を連想されますか? 代表的な町を挙げると、アトランタ、ニューオリンズ、ナッシュビル、メンフィスといったところでしょうか。それらの地名から、風と共に去りぬ、ハリケーン、カントリー・ミュージック、ジャズ、ブルース、エルビス・プレスリーなど、趣味の世界に思はれるかもしません。アメリカ南東部に位置するディープサウスと呼ばれる地域に、研究留学を目的に滞在し早6年が経過しようとしています。アラバマ大学バーミンハム校での、研究環境や住み心地について報告してみたいと思います。アラバマ大学バーミンハム校は創立40周年を迎えるまだ歴史の浅い州立大学ですが、医学部は全米病院ランキングでも上位3%に格付けされ、ハリソン内科学の教科書で有名なハリソン教授が教鞭をとったことでも知られています。大学はアラバマ州バーミンハム市にあり、120の国籍からなる計4万人に近い学生及び職員が在籍しています。私は産婦人科医の経歴から、卵巢癌に対する遺伝子治療を目指して2002年に渡米し、博士研究員として4年近く勤務した後、現在は常勤研究員として癌ワクチンの研究をしています。医学部は、ディープサウスでも有数のメディカルセンターとして機能しており、基礎系と臨床系学科の共同研究や、臨床実験も数多く展開しています。大学が立地するバーミンハム市は、アラバマ州の中央に位置し、市街地を含めると人口100万人に達するアメリカの中都市です。アメリカの中でも保守的な風土と人情にあふれる土地柄で広く知られています。郊外は湖や森に恵まれており、野外でのレジャーも盛んです。アメリカディープサウスの暮らしは、アメリカ東海岸や西海岸といつた比較的日本人が多く生活する地域とは異なり、日本文化や日本人から隔離されている点多少不便ではあります。しかし、英語を勉強しながら異文化体験をするのには恵まれた環境だと思っていました。最後になりましたが、三医会関西支部会の諸先生方には、学生時代から現在にいたるまで、節々に貴重なアドバイスをいただき、心の糧としておられます。今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。



三医会関西支部会の諸先生方には、学生時代から現在にいたるまで、節々に貴重なアドバイスをいただき、心の糧としておられます。今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

臨床研修医をスタートして

玉井 眩己 (平成20年卒業)

アメリカディープサウス(深南部)と聞いてみなさんは何を連想されますか? 代表的な町を挙げると、アトランタ、ニューオリンズ、ナッシュビル、メンフィスといったところでしょうか。それらの地名から、風と共に去りぬ、ハリケーン、カントリー・ミュージック、ジャズ、ブルース、エルビス・プレスリーなど、趣味の世界に思はれるかもしません。アメリカ南東部に位置するディープサウスと呼ばれる地域に、研究留学を目的に滞在し早6年が経過しようとしています。アラバマ大学バーミンハム校での、研究環境や住み心地について報告してみたいと思います。アラバマ大学バーミンハム校は創立40周年を迎えるまだ歴史の浅い州立大学ですが、医学部は全米病院ランキングでも上位3%に格付けされ、ハリソン内科学の教科書で有名なハリソン教授が教鞭をとったことでも知られています。大学はアラバマ州バーミンハム市にあり、120の国籍からなる計4万人に近い学生及び職員が在籍しています。私は産婦人科医の経歴から、卵巢癌に対する遺伝子治療を目指して2002年に渡米し、博士研究員として4年近く勤務した後、現在は常勤研究員として癌ワクチンの研究をしています。医学部は、ディープサウスでも有数のメディカルセンターとして機能しており、基礎系と臨床系学科の共同研究や、臨床実験も数多く展開しています。大学が立地するバーミンハム市は、アラバマ州の中央に位置し、市街地を含めると人口100万人に達するアメリカの中都市です。アメリカの中でも保守的な風土と人情にあふれる土地柄で広く知られています。郊外は湖や森に恵まれており、野外でのレジャーも盛んです。アメリカディープサウスの暮らしは、アメリカ東海岸や西海岸といつた比較的日本人が多く生活する地域とは異なり、日本文化や日本人から隔離されている点多少不便ではあります。しかし、英語を勉強しながら異文化体験をするのには恵まれた環境だと思っていました。最後になりましたが、三医会関西支部会の諸先生方には、学生時代から現在にいたるまで、節々に貴重なアドバイスをいただき、心の糧としておられます。今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

「ルート66」を走る

八坂 陽一郎 (昭和34年卒業 神戸市)

私はハーレータピットソンに乗り始めて30年になります。以前からこの愛車でアメリカ大陸を横断してみたいと常々思っていました。映画「怒りの葡萄」のストーリーに描かれる様に貧しい一家がルート66に沿ってカルフォルニアの楽園を目指して旅をする姿やナックティングコールのヒット曲「ルート66」を聞くたびに旅心がくすぐられました。

元気な体力のある間にバイクで完走してみようと思いつて決心して7年前のお盆休みを利用して手始めに友人のいるラスベガスに向けて出発しました。ハイウェイナンバー66(ルート66)はシカゴから始まり大平原、山岳地帯、渓谷、砂漠など8つの州を通過してロサンゼルスまでの約4000kmに亘るアメリカのメインストリートでした。(現在はスーパーハイウェインシステムに取り替わっています)今回ラスベガスの友人3人が私に伴走してくれましたので大変心強かったです。ラスベガスを愛車で早朝に出発し約200km南下するとアリゾナに入り「ルート66」のゲートウエイであるアーチマンに到着しました。ステベニアショップやギャラリーが立ち並び観光客で賑わううちっぽけな田舎の町を後にしてここから方向を東に転じて標高640mのブラックマウンテンを越えるために起伏に富んだ曲がらくねった道を走行しなければならないので大変緊張しました。町から町までが離れていて町に着くたびにバイクへのガソリンの補給と脱水予防のための水分攝取を行っておくことが必要です。果てしなく続く砂漠のまっただ中の一本道を時速130~140kmで走行することなどは初めての経験で「おれは今憧れのルート66を走っているんだ」と思うと感激のあまり涙が出てきそうな気持ちになつて旅の醍醐味を満喫することが出来ました。「ルート66」の途中でAT&T&SFサンタフェ鉄道と並走する所で運良く貨物列車に遭遇し「ポツー・ポー」と運転手が汽笛を鳴らしてくれて「アメリカにいるんだ」と言う実感を味わうことが出来ました。夕暮れ迫る午後7時にこの日の宿泊予定のウイリアムズのモーテルに到着しました。夕食は街の中心部にあるレストランで懐かしく感傷がつきまとううふたりトリ&ウエスタンの演奏を聴きながら取りました。翌朝は「ルート66」と並行して走るハイウェイ「I-40」に乗つてフーバーダムを観光し午後4時30分無事再びラスベガスに到着しました。この2日間で約100km走破したわけですが「ルート66」の前半程の1/4にしか過ぎません。日本では考えられない過酷な走行状況でこれが非常に感動的で長年の夢の一部を果たしてシカゴからサンゼルスまでの「ルート66」を完走しました。それにしてもアメリカは大きくての様な体験を通じて私の人生観も大いに変わりました。



私はハーレータピットソンに乗り始めて30年になります。以前からこの愛車でアメリカ大陸を横断してみたいと常々思っていました。映画「怒りの葡萄」のストーリーに描かれる様に貧しい一家がルート66に沿ってカルフォルニアの楽園を目指して旅をする姿やナックティングコールのヒット曲「ルート66」を聞くたびに旅心がくすぐられました。

元気な体力のある間にバイクで完走してみようと思いつて決心して7年前のお盆休みを利用して手始めに友人のいるラスベガスに向けて出発しました。ハイウェイナンバー66(ルート66)はシカゴから始まり大平原、山岳地帯、渓谷、砂漠など8つの州を通過してロサンゼルスまでの約4000kmに亘るアメリカのメインストリートでした。(現在はスーパーハイウェインシステムに取り替わっています)今回ラスベガスの友人3人が私に伴走してくれましたので大変心強かったです。ラスベガスを愛車で早朝に出発し約200km南下するとアリゾナに入り「ルート66」のゲートウエイであるアーチマンに到着しました。ステベニアショップやギャラリーが立ち並び観光客で賑わううちっぽけな田舎の町を後にしてここから方向を東に転じて標高640mのブラックマウンテンを越えるために起伏に富んだ曲がらくねった道を走行しなければならないので大変緊張しました。町から町までが離れていて町に着くたびにバイクへのガソリンの補給と脱水予防のための水分攝取を行つておくことが必要です。果てしなく続く砂漠のまっただ中の一本道を時速130~140kmで走行することなどは初めての経験で「おれは今憧れのルート66を走っているんだ」と思うと感激のあまり涙が出てきそうな気持ちになつて旅の醍醐味を満喫することが出来ました。「ルート66」の途中でAT&T&SFサンタフェ鉄道と並走する所で運良く貨物列車に遭遇し「ポツー・ポー」と運転手が汽笛を鳴らしてくれて「アメリカにいるんだ」と言う実感を味わうことが出来ました。夕暮れ迫る午後7時にこの日の宿泊予定のウイリアムズのモーテルに到着しました。夕食は街の中心部にあるレストランで懐かしく感傷がつきまとうふたりトリ&ウエスタンの演奏を聴きながら取りました。翌朝は「ルート66」と並行して走るハイウェイ「I-40」に乗つてフーバーダムを観光し午後4時30分無事再びラスベガスに到着しました。この2日間で約100km走破したわけですが「ルート66」の前半程の1/4にしか過ぎません。日本では考えられない過酷な走行状況でこれが非常に感動的で長年の夢の一部を果たしてシカゴからサンゼルスまでの「ルート66」を完走しました。それにしてもアメリカは大きくての様な体験を通じて私の人生観も大いに変わりました。

阪大での毎日

大阪大学大学院医学系研究科漢方医学寄附講座准教授 西田 慎一

三医会会員の皆様、こんにちは。平成5年卒業の西田です。平成17年10月より現在の職場に勤務しております。ソムラによる寄附講座ですが、第一期の更新を終え、現在は一度第2期(20から22年度)の始まりです。今回は、阪大での私の活動を紹介させていただきます。

まず研究ですが、本講座は自前の研究室を持つておらず、また私自身に基礎研究の経験がほとんど無いため、基礎研究は3名の助教がそれぞれの出身教室(麻酔科、整形外科、免疫アレルギー内科)と連携をとって行っています。ただ、昨今は動物の飼育・薬物投与だけでなく、採血・標本作成まで行ってくれる外注委託業者があり、その方向も検討しています。臨床研究については出身医局である関西医大の心療内科と連携し、心身症やストレス疾患患者についての研究を行っています。漢方の科学化というテーマは膨大な領域にわたることと、英文での投稿という点において、まだまだ苦労を要します。

次に教育については、3回生で薬理学の中で2コマ、4回生で7コマの講義があります。和漢薬研究会というクラブの顧問もしていますが、たくさんの学生が入部しています。また、faculty developmentの一環として院内で自己の回程度の勉強会を開催しており、一緒に漢方勉強する仲間を増やしています。

そして臨床面では毎日漢方外来を行つており、院内・院外のさまざまな診療科から紹介を受けます。症状としてはいわゆる自律神経失調症に相当するものから、癌の補助療法、アトピー性皮膚炎、慢性疲労症候群、冷え症、更年期障害など、非常に多彩です。工キス剤だけでなく、煎じ薬による本格的な漢方处方も行つています。

阪大はもともと「アンチ漢方」としても有名であり、そのような大学に自分が勤務することは夢にも思っていませんでした。しかし幸い理解のある先生方に恵まれ、院内での認知も徐々に高まっています。今後さらに漢方を阪大で広め、新しい研究をしてゆきたいと思います。

三医会関西支部総会(於 神戸ポートピアホテル 2月17日)



ばよいかも理解出来ませんでした。オーダーを間違えたり、抗がん剤の注入を失敗したりして周囲に迷惑を掛けてしまつて知識以前に病院の日常業務を理解するのが必死で、中央区の下宿に疲れ果てて帰るところのまま「バタン、キュー」と寝てしまつ日々でした。また、患者さんに質問されてもはつきりと答えられず、自分にがっかりする日が続きました。しかし、指導医からは「まずは努力するという過程が大事」と優しく慰めて貰つて「やるしかないんだ」という気持ちが湧いて来ました。結果が全てといふことは分かっているのですが今はそんなことを言える立場ではなく、とにかく前に進むんだと思えるようになりました。病棟に上がつた際は患者さんの病室を回診して、よく会話して病状を聞くこととコミュニケーションの向上に心掛けました。手術室では数多くの様々な術前準備を手伝い、手術書で勉強して来た実際の手術手技を少しでも理解するよう努めました。看護師さんの業務内容を見よう見まねで理解しようとした。エレベーターは極力使わない様にして体力を鍛え、基本的に下積みを充分積み重ねて自分が頭に描いている医師の姿に少しでも早く近づけて行けたらと思つています。現在の自分の白紙の状態をさかさないで皆と楽しい積極的な研修生活を過ごすことで知識を集積して埋めていくつもりです。

指導医は学ぶ機会を多く与えて下さり、同期の研修医はみんな熱心ですので仲良くなりながら1年上の研修医の先生方も頼もしく感じている今日この頃です。「この恵まれた環境を生かし、一步でも前進していく所存です。二重大卒出身の諸先輩方はこれから何度もお会いする機会があるかと思いますが何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

平成20年夏の会 印象記

大阪市立総合医療センター 乳腺外科

小川 佳成（昭和63年卒業）

今年の夏の会は21名の学生諸君と7名の新研修医が参加し、いつもより熱気に満ちた（人口密度の高い？）会場であった。これだけの参加者数があったのは、杉本支部長の「尽力の賜物と容易に推察される。一方で、この一ト時代、研修先の情報は容易に収集出来るのにわざわざ大阪まで出かけてくれるのは、やはり生の情報も大事であることに気づいていたのだろ。しかし、それに応える医師の参加が少ないことは、例年のことである（15名の参加）。忙しいのか？興味がないのか？直接メリットがなくてもお互い様ということで、後輩のためにもっとと参加してあげて欲しい。少々脳みそが鈍び付き始めた私のお題目より、10年目までぐらの若手中堅医師の本音トークの方が余程役に立つであろうと思う。生き生きとした学生諸君を見て、みんながいい医者になって欲しいと思う。心意気があって努力を続けていれば、誰しも名医になれると思う。症例数の多い病院なら早く一人前になると考えて都会の大規模病院を研修先に選ぶ学生も多いと聞くが、症例数の多い病院は忙しそぎで研修医教育にまで十分に手を廻せないこともある。こんな戦場では、自主的に何でも吸収していく研修医は急速に伸びていくが、皆がそういう訳ではない。自分の性格も考え、研修先を選んで欲しい。先は長い、焦る必要はない。診療部長などと偉そうにしているけれど、私もいなポンくらがこの病院で研修を始めていたら、きっと挫折していくに違いない。今の時代、つくづく研修先選びは重要であると思う。だから皆さん、学生のために一肌脱いで下下さい。



後期研修を始めて

M先生（匿名）

後期研修を始めて4か月が過ぎました。研修先は、大学病院です。高い専門性、知識や技術の習得にあこがれて入職したものの、雑用が多く、疾患が特殊、雰囲気が保守的なイメージもあります。不安も多いスタートでした。4月にまず感じたのは、自分を見る目の多さでした。新しい環境を探る間もないまま、次々に新人院が入り、モチベーションはもちろん、こなし方を試されているのがわかりました。考え方、器用さだけでなく、仕事の流れ、コミュニケーション

ケーション能力などなどです。昨年の3年目と比較され、今年の3年目の中でも比較されます。最初がかんじんと思って前期研修でやつてきたことをただ必死にはきたとしていました。5月になると周りをみる余裕ができました。大学での仕事を客観的にみてみると、仕事は比較的シンプルでスピード、疾患は多様、「やりたい人間は付いてこい、面倒はみてやる」とチャンスも多いです。与えられた条件が良好であることに、感謝しました。そして、技術や知識のみならず、飲み会で出て来る言葉の中にも「この先生方はプロだ」と感じることが何度もあって、あらためて身がひきしまりました。6月、7月と日々が流れゆく中、同期の中で個性が目立つてきました。切磋琢磨、助け合いながらも互いのレベルを気にしながら働いてきた私達は、いつの間にか開いていたいろいろな差が縮まっています。焦りを感じる者、さらに次へと手をのばす者が出て、少しずつ違つてきました。良かつたと思うのは、互いを認めあって仲良くやつていることが大切だと言つことに気が付きました。「このまますつといい関係でいられるだろうか」など正直心配ですが8月のこの暑さをどうの乗り切ろうかなど考えながら頑張っています。

平成21年の三医会関西支部の総会・講演会・懇親会のご案内

● 京都府が担当します。

川原田力也 三医会会長、竹田 寛 教授（放射線科、S50年卒）が

本部から出席されます。

開催日時 2月22日（日）午後2時～5時

開催場所 リーガロイヤルホテル京都

（新幹線八条口側からシャトルバスが運行）
京都市下京区堀川塩小路
TEL 075-341-1121

三医会関西支部役職者一覧表（敬称略）	
◆支部長 杉本 浩一(S42年)	◆監査役 庄村 東洋(S36年)
◆副支部長（各府県1名）	安藤 仁郎(S38年)
大阪府 薩山 充(S52年)	◆勤務医会代表の理事 岡田 行功(S49年)
京都府 石田 晟(S39年)	林田 孝平(S50年)
兵庫県 松原 隆(S54年)	齊藤 徹(S52年)
奈良県 西川 勝仁(S53年)	習田 龍(H7年)
和歌山県 中村 光作(S53年)	◆開業医会代表の理事 布谷 隆明(S49年)
滋賀県 山形 高志(S51年)	細野 進(S51年)
◆専務理事	山下 宣繁(S53年)
総務 宇野 敦彦(H5年)	倉田 順弘(S54年)
高澤 正志(H8年)	有山由布子(S63年)
会計 猪尾 芳弘(H7年)	町田 英世(H2年)
陳 慶祥(H7年)	杉山 茂男(S24年)
厚生 小川 佳成(S63年)	◆名誉会長 高橋 章三(S33年)
西原 承浩(H1年)	宮本 薫(H5年)
IT 譜久山 仁(H10年)	譜久山 仁(H10年)